

事業名	バリア・バリアフリー体験教室・ まち探検推進事業 (Part 2)
団体名	バリアフリーまつど市民会議

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

「バリア・バリアフリー体験教室」は、大人も子どもも一緒に障害のある人やお年寄りといれあい、また“疑似体験”をすることで「新しい発見」・「新しい感動」・「新しい気づき」を実感してもらいます。そして、障害のある人との接し方やお手伝い、サポート方法など“心のバリアフリー”に繋がる動機付けにする活動です。また、「まち探検」にはいろいろありますが、バリアフリーの探検は、まちを歩きながら誰もが安全に安心して暮らすことができるかどうかの目線でチェックをします。また、お年寄りや障害のある人と協働で作業することで様々なバリアや当事者の苦労や不安などを学ぶ場でもあります。そしてそれらを反映した「バリア・バリアフリーマップ」を作成し、広く啓発することを目的にした活動です。以上ふたつの活動は、『誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり』への関心を広く市民に広げることが目的とします。

バリアフリーまつど市民会議では、会発足（05年）以来3年、「まち点検」・「バリアマップ」作り、市民祭での「バリア・バリアフリー体験教室」などを続け、本年（09年）は、市民活動助成事業として活動の中心にしています。しかし、これらの取り組みは、短期間で効果を得られるものではなく地道に継続した活動が不可欠です。全市的に見れば“点”の取り組みであり各地区・全市への取り組みに広げることが求められます。

2. 申請理由

超高齢化社会を迎えている現在、安全で安心な「やさしさいっぱい」のまち作りは急務です。また、千葉県では全国に先がけ「障害のある人もない人もともに暮らしやすい千葉県づくり条例」を作りました。「体験教室」と「まち探検」は暮らしやすいまち作りを考え、学ぶ場です。この二つの取り組みは、大変時機にかなっていると考えます。町会や商店会、学校や老人会など様々なグループが、障害当事者とともに気軽に取り組めるようにしていく必要があります。今年度もこの市民活動助成事業の採択を受け活動していますが、これを実行するためには、短期間の活動では効果が得られません。引き続き活動を継続し、内容の充実と深度化を図るべく助成をお願いするものです。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

08年に作成した「体験教室」「まち探検」普及リーフレット（別添）を活用して以下の取り組みをします。

① 5月

- ・会員と市民参加でプロジェクトを立ち上げ、意見交換会、勉強会を開催し地域住民や障害者の意見を収集する。

② 7月～9月（上半期）

- ・市のバリアフリー事業の進捗も考慮し、「まち探検」を実施する。
- ・「やさしさいっぱいみんなのまち」の活用状況の把握と学習現場での生の意見を収集する。

③ 10月～1月（下半期）

- ・「松戸まつり」への参加。出前「体験教室」を2地区で計画。
（小学校、学童保育、社協まつりなどでの実施を検討中）
- ・「やさしさいっぱいみんなのまちシンポジウム」（仮称）を開催。
冊子の内容の充実を検討し、まとめる。

* 今後の活動を展望し、事業を通してバリアフリーまちづくりリーダーの養成を図る。

4. 事業成果の活用と将来展望

一つ一つの取り組みは、できるかぎり地域の町会、商店会、老人会、障害者団体、個人、有識者、学生および行政、鉄道事業者等の協力を得ながら「ワーキンググループ」を立ち上げ実施して行きます。この活動の中で育ったメンバーが“核”となり自立してこの活動を点から線へ、線から面へと発展させる土台となって行きます。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金) 会費・寄付	金額	積算内訳
			45,000円
	自己資金合計 (a)	45,000円	
市	助成金申請額 (b)	100,000円	
	収入合計 (c) (a+b)	145,000円	

【支出】

	項目	金額	積算内訳
	交付対象経費	報償費	15,000円
印刷費		20,000円	報告書、チラシなどの印刷
消耗品費		40,000円	材料代 30,000 会議資料用品費 10,000
使用料		24,000円	会場使用料 14,000 運搬車両借上げ 10,000
通信費		20,000円	アンケート・案内の郵送代
保険料		9,000円	行事保険
対象となる経費合計額 (d)		128,000円	
その他	スタッフ飲食費用	5,000円	
	会員外スタッフ交通費	12,000円	@300×40人
	その他経費合計額 (e)	17,000円	
	あ事業費 (f) (d+e)	145,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。